



平和首長会議ニュース

2021年2月 / 第134号

平和首長会議加盟都市数

165 か国・地域 8,013 自治体

加盟都市数 10,000 都市を

目指しています！

日本国内加盟自治体数：1,734

(2021年2月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

ツイッター:

<https://twitter.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆核兵器禁止条約発効記念行事「核なき世界へスタート！」を開催しました！
- ◆未加盟都市への呼び掛けに関する好事例を紹介します！
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 165 か国・地域 8,013 自治体
- ◆HIROSHIMA and PEACE への受入中止のお知らせ
- ◆平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)

■核兵器禁止条約発効記念行事「核なき世界へスタート！」を開催しました！

2021年1月22日に核兵器禁止条約が発効したことを受け、翌23日に広島・長崎・東京の3都市をオンラインで繋ぐ記念行事「核なき世界へスタート！」を平和首長会議と市民団体が協働して開催しました。(イベントのプログラム詳細等は[こちら](#))

◆東京会場

条約発効に尽力した国連の中満事務次長兼軍縮担当上級代表やホワイトコスタリカ大使(元核兵器禁止条約交渉会議議長)、3名の関係団体代表者等のビデオメッセージを放映したほか、平和首長会議も連携してきた『ヒバクシャ国際署名』の活動報告等がありました。

◆広島会場

最初に、松井会長が、広島県知事、被爆者代表2名と共に登壇し、「平和な生活を奪い去る核兵器は廃絶すべきであるという市民の視点に立ったこの条約は、必ずや、核兵器廃絶を実現するための重要な原動力になると思います。核兵器はいらないという声を世界に広げみんなで平和な共生社会を作っていきましょう。」と訴えました。

次に、若者5人が、被爆者の方々の思いを受け継いで行っている平和活動を発表し、お互いの活動に対する感想や、今後の抱負を発表し合い、「私たち若い世代が被爆者の思いを継承し、行動を起こしていなくてはならない。」と決意を新たにしていました。



広島会場の参加者

続いて、平和団体代表者のビデオメッセージの放映の後、被爆体験記朗読ボランティアがギター演奏に合わせて原爆詩を朗読し、最後は、小学生による平和の歌の合唱(ビデオ放映)でプログラムが締めくくられました。

◆長崎会場

若者や被爆者団体代表へのインタビューの後、同条約をより国際社会に浸透させるための方法について、長崎市長等が対談しました。

イベントの最後には、各会場等をオンラインで繋いで一堂に会した参加者たちが、今後も共に核兵器のない世界を目指し、邁進していこうと誓い合いました。

🔗 平和首長会議ウェブサイト関連ページ:

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/210128_news_2.html

世界中の加盟自治体においても、核兵器禁止条約の発効を記念するイベント等が開催されました。これらの行事を含め、加盟都市の活動や、平和首長会議行動計画に基づく取組に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

🔗 加盟都市の活動(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/activities.html>

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議事務局では、行動計画に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。行事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====
■未加盟都市への呼び掛けに関する好事例を紹介します!
=====

平和首長会議では、「核兵器のない世界」の実現に向けた更なる国際世論の醸成・拡大を目的に、10,000都市加盟を目指しています。

加盟都市の拡大の取組をより一層推進するため、未加盟都市への呼び掛けにより加盟につながった好事例を紹介します。

◆ポルトガル・エヴォアラ市の活動紹介

(報告者: Paula Santos氏 エヴォアラ市Técnica Superior)

エヴォアラ市では、平和を希求し、戦争や核兵器の使用に反対する平和首長会議の加盟都市が増加し、国際的な影響力を増していることから、更なる加盟拡大に向けて貢献したいと考えました。

そこで、1月下旬、「Portuguese Movement of Cities for Peace」のメンバーであるポルトガル国内の30都市に対し、エヴォアラ市から平和首長会議への加盟を呼び掛ける書簡を送りました。また、ウェブサイト・SNS・地方新聞などに平和首長会議の概要を説明し加盟を呼び掛ける記事を投稿し、同市が属するアレンテージョ地方の58の自治体に向けて情報発信を行いました。

本コーナーで紹介する事例を参考に、姉妹・友好都市等交流関係のある未加盟都市に是非加盟の働き掛けをお願いします。呼び掛けの際にご活用いただける加盟要請書類(10か国語)は以下からダウンロードできます。

🔗 加盟要請書類一式

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/aboutus/join.html#section01>

事務局では、未加盟都市への呼び掛けに関する好事例を随時募集します。他都市の参考になるよう、メールマガジンでご紹介しますので、皆さまからの情報提供をお待ちしております。

=====
■平和首長会議加盟自治体数: 165 各国・地域 8,013 自治体
 =====

2月1日付で、11自治体が加盟し、加盟自治体数は8,013となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国名	新規加盟 都市数	合計	備考
ネパール	1	11	
ニュージーランド	3	33	昨年11月の小泉事務総長のウォルトン＝フランス駐日公使訪問をきっかけとした同国の地方自治体協会の呼び掛けにより加盟。
ボスニア・ヘルツェゴビナ	1	39	ベリヤン駐日大使の呼び掛けにより加盟。
ドイツ	1	705	副会長都市及びリーダー都市のハノーバー市の呼び掛けにより加盟。
アイルランド	1	13	副会長都市及びリーダー都市のマンチェスター市の呼び掛けにより加盟。
イタリア	1	516	
ルクセンブルク	1	57	同国から5年ぶりの加盟。
スペイン	1	395	同国から3か月連続の加盟。
アルゼンチン	1	100	

9か国から11都市が加盟

 ネパール 1都市	 イタリア 1都市
 ニュージーランド 3都市	 ルクセンブルク 1都市
 ボスニア・ヘルツェゴビナ 1都市	 スペイン 1都市
 ドイツ 1都市	 アルゼンチン 1都市
 アイルランド 1都市	

2021年2月1日現在

8,013 加盟都市 165 各国・地域

加盟都市数**10,000都市**を目指しています！



🔗 2月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/03_newmembers/2021/newmembers2102_jp.pdf

🔗 加盟都市数一覧(国・地域別)

http://www.mayorsforpeace.org/data/01_monthly Updating/07_membership_by_country_jp.pdf

=====
■HIROSHIMA and PEACEへの受入中止のお知らせ
=====

平和首長会議では、毎年加盟都市の青少年を広島に招き、広島市立大学の夏期講座HIROSHIMA and PEACE受講への支援を行うとともに、平和首長会議加盟都市の参加者同士で、それぞれの都市の平和活動の紹介や、今後自分たちがどのような活動をすべきかについてディスカッションをしてもらっています。

この講座の実施主体である広島市立大学から、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから、2021年はオンライン開催とする旨の連絡がありました。

これに伴い、本プログラムに係る青少年の広島への招へいについても、今年は中止とすることにいたしました。

代って、2020年8月に開催した平和教育ウェビナーのように、加盟都市の若者等が平和について語り合うウェビナーの開催について、検討しています。

=====
■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

2017年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)※」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

※次期行動計画は、新型コロナウイルスの感染拡大により2021年8月を目途に延期となった第10回平和首長会議総会で策定する予定です。現行の行動計画は、それまで暫定的に終期を延長することとし、取組を継続します。

🔗 「平和首長会議行動計画」(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/conferences/general/data/9th_gc/9th_gc_Action_Plan_jp.pdf

🔗 行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト):


<http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html>



=====
■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
=====

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

 平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html#section10>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

TEL:082-242-8872 FAX: 082-242-7452

=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

▼TEL: 082-242-8872 FAX: 082-242-7452



被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html#section04>



=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第76回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====
核兵器禁止条約が発効した1月22日とその前後は、被爆地、東京、そして国内外の市民の喜びの声が広島でも大きく報道されました。今後、核兵器がもたらす被害がいかに非人道的であるかを世界にもっと実感を持って知ってもらい、締約国を増やしていくことで、この条約をより実効性あるものにしていかなくてはなりません。

核兵器が現実にもたらした悲惨さを学ぶ場である原爆資料館のミュージアムショップで2月8日に発売されたのが、「広島平和記念資料館総合図録—ヒロシマをつなぐ—」です。図録の一新は、約22年ぶり。展示されている遺品の写真撮影やコラム記事の執筆で、中国新聞社が協力しています。

当然ながら展示内容がよく分かる一冊ではありませんが、戦前からの広島の歴史や、平和記念公園の慰霊碑マップなど、展示解説にとどまらない充実した内容です。同館の学芸員によると「展示と向き合いながら『何か行動したい』と思った人の役に立つ情報を盛り込んだ」そうです。

核兵器禁止条約の前途は決して平坦なものではないでしょう。広島・長崎に思いをはせ、「何か行動したい」と思い立った人たちの輪が広がっていくことが鍵になるはずですよ。

関連記事は次のアドレスで読めます。

ヒバクシャ署名 1370 万筆 最終集計 核禁条約参加訴え

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=102963>

原爆資料館が図録一新 犠牲者の遺品写真多く

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=103181>

どうみる核兵器禁止条約発効 <1> サーロー節子さん

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=103020>

どうみる核兵器禁止条約発効 <2> オーストリア前外務省軍縮局長 トーマス・ハイノツィ氏(65)

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=103052>

どうみる核兵器禁止条約発効 <3> 一橋大教授 秋山信将氏(53)

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=103093>

どうみる核兵器禁止条約発効 <4> 広島平和文化センター前理事長 小溝泰義氏(72)

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=103126>

どうみる核兵器禁止条約発効 <5> 広島大平和センター長 川野徳幸氏(54)

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=103168>

どうみる核兵器禁止条約発効 <6> 「すすめ！核兵器禁止条約プロジェクト」メンバー 会社員田中美穂さん(26)

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=103195>

どうみる核兵器禁止条約発効 <7> 核兵器廃絶をめざすヒロシマの会 共同代表 森滝春子さん(82)

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=103210>

締約国会議に参加意向 広島市長、核兵器禁止条約発効で 廃絶へ発言機会望む

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=103348>

このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5

(公財)広島平和文化センター 平和首長会議・2020ビジョン推進課


TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/statements/newsflash.html>

【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈ツイッター〉 

<https://twitter.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉 

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！